

別記様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	西東京市廃棄物減量等推進審議会（第3回：平成18年度）
開催日時	平成18年6月29日（木）午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	保谷庁舎 防災センター 6階 講座室
出席者	（出席委員）大江会長、坪井副会長、栗原委員、岡野委員、篠原委員、北村委員、奥田委員、佐々木委員、宮川委員、堀越委員、五十島委員、山崎委員、石井委員、岡田委員 （事務局等）斉藤環境防災部長、櫻井ごみ減量推進課長、篠宮ごみ減量推進課主幹、河合ごみ減量係長、三村統括技能長、加藤主事、平岡主事
議 題	西東京市の家庭ごみの資源化促進と適正な費用負担について
会議資料	次第、会議録（平成18年度第1回・2回）、家庭ごみ有料化未実施団体調査報告書、西東京市ごみ収集量の推移、家庭ごみ有料化実施団体（近隣3市）の状況、西東京市家庭ごみ有料化の考え方
会議内容	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会 長	これから平成18年度第3回審議会を開催いたします。
	～ 議事録の確認 ～
会 長	最初に資料の確認をしていきたいと思います。
	～ 資料確認 ～
会 長 事務局	第1回の会議録は、差し替えで第2回は前回の分となります。 第2回の会議録は、今日お渡ししましたので家に帰って読んでいただき訂正があれば、次回の審議会でご指摘していただければと思います。
会 長	本日の議題の西東京市の家庭ごみの資源化促進と適正な費用負担について前回から検討してきました。特に家庭ごみの有料化についてのメリット・デメリットを近隣市の状況等について説明・議論してきましたが、それについて若干残ったものもありましたので、それを含めながら説明していただき、有料化実施・未実施団体からの説明を進めていただければと思います。
事務局	資料1～4を一通り説明させていただき、その後ご質問を受けたいと思っております。前回副会長から指定袋の料金の一覧をまとめたものをいただきたいとのご要望がありましたが、今後26市の状況をまとめたものを示し、その中で指定袋の値段を示していきたいと考えています。

<p>副会長 事務局</p>	<p>高いところでは1枚80円ぐらいだと思います。あまり安くてもリバウンド現象が起こってしまうと思います。</p> <p>資料1の家庭ごみ有料化未実施団体調査報告書については、前回4市の途中経過をお示ししましたが、その後、武蔵村山市と国分寺市から回答をいただき、完成させたものになります。武蔵村山市は有料化の検討は行っておらず、さらに審議会等も立ち上げていないということです。国分寺市では、平成18年2月に、有料化の実施時期は戸別収集と合わせて行うのが望ましいとの答申がされています。戸別収集は19年2月に予定しているため、その時期に合わせて有料化を行うのではないかと考えております。</p> <p>次に資料2の西東京市のごみ収集量の推移ですが、会長からご要望のありました資料で、平成13年度～17年度の5年間をあらわしたものです。</p> <p>ただし、17年度の数値は最終確定値ではないため、今後変更の可能性があるのでご了承ください。可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・粗大ごみ・有害ごみ・持込ごみで分類しており、全体の量は大きく増減していませんが、17年度の粗大ごみの減少理由は、西東京市が委託している2業者が柳泉園組合に搬入する前に分別処理を行っているためです。その分柳泉園組合に搬入している可燃ごみ・不燃ごみが若干増えています。持込ごみは、市が直接搬入するものではなく、事業系ごみや個人で持ち込むごみで、ほとんどが可燃ごみとなっています。右側に人口と世帯数を掲載していますが、人口と世帯は増えているので普通ならごみ量は増えますが、これを見るとごみ量は増えていません。この表には掲載はしていませんが、1人当りの排出量は減っており、13年度では301.93kg、17年度では294.92kgとなっています。一方資源物の排出量は年々増えており、再利用される資源物に出していただいていることが分かるかと思えます。</p> <p>資料3の有料化実施団体（近隣3市）の状況は、6月に小金井市・調布市・武蔵野市の3市に職員が視察した内容をまとめたものです。その他プラスチック収集や戸別収集を直近で実施し、西東京市が参考となる3市を選びました。それぞれ市の実情もありますが、有料化実施前に懸念した事項と実施後の結果が非常に参考となり、特に委員の皆様が心配していた不法投棄は、有料化しても逆に減っているという状況です。戸別収集を同時に行ったことで収集日以外にごみを出したり、他のごみ集積所に出すと周りの目が気になるなど、抑止力になっていると思われます。若干ですが、有料化のルールを知らない人や有料指定袋以外で出す人もいると聞いております。また、コンビニでは経営方針で在庫をあまり置きたがらず、指定袋の在庫が無くなってしまいう問題もあったようです。有料化当初は、市民の皆様方が買いだめする傾向にあり、24時間オープンしている便利なコンビニに在庫が無くなり、苦情も多く寄せられたとのこと。小金井市では、指定袋の納品業者の休業日に袋が不足となり、在庫のある販売店から工面したそうです。</p> <p>さらに、説明会でごみの駆け込み排出は避けるように十分PRしたにもかかわらず、通常の2～3倍の排出が見られたとのこと。</p> <p>また、いずれの市でも見られますが、生ごみ処理機器の助成申請について有料化が決まると通常の3～4倍の申請になるそうです。様々な問題点について、西東京市においても対応できるようにする必要があります。ごみ収集に関しては、収集時間が遅くなり一週間ぐらいは苦情が続き、それを過ぎると自然となくなっていくとのこと。</p>
--------------------	--

<p>委員 事務局</p>	<p>また、有料化と戸別収集を同時に行うと、市民の方々がかなり混乱するため、戸別収集を先に行う等の工夫が必要とのアドバイスをいずれの市においても受けました。</p> <p>そのためには、ごみの分け方・出し方を十分マスターしてもらい、有料化を行うことが市民の方々が混乱しない方法と考えています。</p> <p>近隣3市は有料化したことにより7～10%の減量になっていますが、この3市だけではリバウンド現象がどの程度かは見えませんが、有料化のスタート時はかなりのごみ減量につながっていると思われます。</p> <p>それは、駆け込みによるごみ減量ではないですか。</p> <p>有料化して一年ほど経過している市もあり、年間を通じての数値ですので駆け込みだけの要因ではないと思います。</p> <p>袋の価格は1枚80円前後、袋の大きさは4種類作っている市が多くなっています。</p> <p>武蔵野市だけは、可燃ごみ・不燃ごみ共通の袋としています。</p> <p>減免関係は、生活困窮者が主です。調布市では身障者手帳（1・2級）や愛の手帳（1・2度）の方も減免しています。</p> <p>生活保護、児童扶養手当、特別児童扶養手当等受給者は、どの市も減免対象としており、西東京市においても、減免世帯数等を把握した上で有料化を行いたいと考えています。その他にボランティア袋やおむつについても無料にしている市が多くなっています。</p> <p>減免世帯については申請方式にしているところがほとんどで、武蔵野市は事前に対象者へ一定枚数を配布しているとのこと。</p>
<p>会長 委員 事務局</p>	<p>最後に、実施前に市民説明会や市報・チラシ等で十分PRしてもトラブルが起きるとのことなので、西東京市も近隣市の良いところを取り入れ、できるだけトラブルが少なくなるよう進めたいと考えています。</p> <p>資料4は西東京市の家庭ごみ有料化の考え方ですので、資料4に入る前に資料1～3について質疑を行いたいと思います。</p> <p>東京23区推奨袋は、70?の袋も出していると思いますが、40?までで70?の袋は作らないのですか。</p> <p>他市の実績では70?は作成しておらず、一般家庭ごみは通常45?までで、それ以上は事業系のごみが対象になると思います。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>他にご質問がなければ資料4の説明をしていただき、資料4の質疑に入っていきたいと思います。</p> <p>資料4の西東京市の家庭ごみ有料化の考え方は、まだ決まっていないことも多く、審議会の委員の皆様へ審議のうえ決めていただくことも多いと思います。現時点でどのように考えているか項目別にまとめたものです。</p> <p>まず基本理念ですが「家庭ごみ有料化は、ごみ排出量に応じた適正な費用負担をしてもらうことで減量化に積極的な市民とそうでない市民との不公平感を是正することができます。そして、ごみの分別と減量が広く周知されることにより、全市民のごみ問題に関する意識高揚を促し、ごみの減量・再資源化を推進することになります。また、戸別収集を実施することにより、ごみ排出者の責任を明確にし、排出ルールを徹底することができます。」ということです。東京都市長会からも、15年度末を目途に多摩地域全市で有料化にすべきとの提言もありました。法的根拠は、「地方自治法第277条及び第288条第1項」において手数料を徴収し、ごみ処理をすることができることに</p>

なっています。有料化の位置づけとして「総合計画」「環境基本計画」「行財政改革大綱（地域経営戦略プラン）」「一般廃棄物処理基本計画」それぞれに掲載されています。有料化の目的・効果は重要な順に掲載しており、第1として「最終処分場の延命化」で、現在の二ツ塚廃棄物広域処分場は開場5年間で約30%が埋立てられ、残り約10年しかもたないと言われ、エコセメント化事業を今年度4月から実施しています。この事業を実施しても約30年しかもたないと言われており、ごみの最終処分場の問題は永遠の課題です。また、新たなごみの最終処分場を作るには莫大な費用がかかってしまいます。

「ごみ処理経費の軽減」は、ごみが減れば必然的にごみ処理の経費が低くなるということです。「ごみ処理経費負担の公平性」は、ごみ処理経費を負担する市民の方々に多くごみを出す人と少ない人とでは不公平感がありますが、有料化することにより、ごみを出した量に応じて経費を負担することになります。

「環境負荷の低減」は、ごみが減れば環境への負荷が少なくなります。

「排出者責任の明確化」は、責任を明確にすることにより不法投棄の防止や経費を払うことにより排出者の責任が明らかになることです。

「総ごみ量の減量と資源化推進」は、全体の総ごみ量を減らし、使えるものは再使用し、さらに資源化をすることが進められるということです。

有料化は、市の財政状況をよくすることではなく、これら5つの目的のために行い、有料化はあくまでも間接的な手段にすぎないということです。

「実施時期」は、平成19年10月を予定しており、この時期は地域経営戦略プランに掲載されています。

有料化のごみの「対象範囲」ですが、1可燃ごみ・不燃ごみ 2可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ（その他プラスチック類）3全てのごみの中で委員の皆様で審議していただき決めていきたいと思っております。

「排出方法」は、市の指定袋だけでなく、その他の方法としてシール方式等を採用しているところもありますので、排出方法についても審議していただければと思っています。

「収集方法」は、戸別収集を行う予定ですが、有料のごみだけを行うのか、無料のごみを含めて全てのごみを対象にするのか、経費や収集時間等を考慮に入れながら審議していただきたいと思っています。

「手数料」は1? 2円を想定し、ごみ排出が多くなれば費用負担が増える従量制を考えています。他市においては、1ヵ月500円の負担を考えているところが多く、逆にこれ以上だと費用負担が高すぎると想定しています。これらを考慮しながら最終的に決めていきたいと考えています。

「減免対象」は、1落ち葉、剪定枝 2おむつ 3ボランティア活動で収集したごみ 4減免が必要な世帯 の範囲でどこまで認めていくか審議していただければと思います。西東京市の使用料・手数料等の基本方針というものがあ、基本的には減免はしないということですが、必要に応じて検討していくことになっています。

「周知方法」は、市報・ホームページ・パンフレット・FM西東京・ケーブルテレビを活用し、市民説明会については、回数をこなし周知徹底をしていきたいと考えています。

「課題」の中で、「継続的なごみ減量の推進」については、他市においても新しい施策を考えながら継続的にごみ減量の推進を行っています。「事業者も含めた排出者の意識向上」は、一般の市民だけではなく、事業者にも

<p>会 長</p>	<p>ごみ減量推進の理解をより一層進めていきたいと考えています。「排出量リバウンドの防止」は、ごみの排出量のリバウンド現象にならず、継続的にごみの減量が持続されることが必要です。「不法投棄等の防止」は不法投棄等の防止策を考えながら有料化を進める必要があるということです。</p> <p>今まで現時点で考えられる方向性を示しましたので、この審議会でご審議いただければと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料4で基本的な有料化のたたき台を説明していただいたと思いますが、前半は、基本理念や目的、後半は具体的なものを話していただきました。この有料化の考え方をもって、さらに具体的な検討が出され、市民に対して説明・説得する基本的なあらすじになるとと思います。</p> <p>この資料を基に審議会の中で意見交換や質疑を行い審議していきたいと思えます。多摩の市の中で比べても、西東京市は有料化等について遅くもなく早くもない時期に実施しようとしており、先進市を参考にしながら忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、1週間の中で品目を決めて収集していますが、戸別収集になると1日で全品目を収集している所などはあるのでしょうか。</p> <p>可燃ごみ・不燃ごみ等他の品目を一緒に収集している所は無いのが現状です。全品目を戸別収集しているのは、小金井市・調布市・武蔵野市の3市は行っています。一方、八王子市・町田市などは無料のごみはステーション収集とし、有料のごみは戸別収集を行っています。戸別収集による収集労力は、ステーション回収と比較して武蔵野市で約1.3倍、小金井市では1.5倍かかっており、戸建住宅や道路が狭いところでは多くの労力等がかかり、逆に集合住宅が多い場合には、労力が少なくて済むため、地域性がかかわってくると思えます。西東京市においても、現状より1.3～1.5倍の労力等の増加を見る必要があると考えています。さらに、全ての品目を戸別収集にするか、または、有料のものだけを戸別収集するのか、その他プラスチックを含めて戸別収集にするかによって違ってくると考えています。</p>
<p>副会長</p>	<p>ごみ、すべてを戸別収集にすると地域のコミュニケーション等、横のつながりがなくなるので、集団回収等を促進する必要があると思います。</p>
<p>会 長 副会長 事務局 委 員</p>	<p>ステーションを残すということですか。</p> <p>ステーションとは別に集団回収を促進することです。</p> <p>市民の中には逆に戸別収集をして欲しいとの意見も多くあると思います。</p> <p>戸別収集・有料化・その他プラスチックの分別収集を一気に行うと市民に対して説得力がなくなり、それぞれ時間をかけて実施する方が市民にとって分かりやすい気がします。以前はその他プラスチックの分別収集は18年4月実施であったが市長の判断で来年になったのか、有料化と抱き合わせで行うのかで市民の反動も大きいと思う。有料化については反対ではないが、徐々に有料化にもっていく必要があると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>議会等で来年早々その他プラスチックの分別収集を行うと言っておりますが、この審議会の中で同時期に行うと市民が混乱してしまうとなれば、時間差を設けスムーズな移行ができるよう、この審議会の意見等を十分反映していきたいと考えています。行政は上位計画に沿って事業を進めていきますが、受け手である市民に問題等があれば十分審議していただきたいと思えます。</p>
<p>会 長 副会長</p>	<p>他に関連してご質問がありますか。</p> <p>分別の仕方が変わるのは、その他プラスチックの資源化が1つ増えたことに</p>

	<p>なるので、市民はそんなに混乱しないと思います。戸別収集が先か、有料化が先か、同時に行うかが問題で、日野市は2000年に同時に行っており、混乱はあまりなかったと聞いています。このような先進市を参考にしていって行く必要があると思います。日野市の土地は起伏も多いけれども、戸別収集はスムーズに行っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>武蔵野市は実施後1ヵ月ぐらい混乱しました。それは、事前に市職員が1件1件、家をまわり、自宅敷地内のどこに置くか決めていき、収集業者に地図を渡し、その地図をもって業者が収集に回ったが、敷地内をかなり探すようになり、収集時間がかかったと聞いております。そのため、事前に十分な調査等を行って実施すれば混乱は少ないと思います。さらに、武蔵野市で収集車や人員が3割増で収まったのは、ステーション利用世帯が以前から3～5世帯と少なかったためです。逆に東村山市のようにステーション利用世帯が数十世帯と多いと、収集車や人員の増加分が増えます。西東京市は、小さなステーションが多く、人口の約半分は共同住宅と思われるので、意外とスムーズに移行できると思います。また、市の委託の資源回収業を行っていましたが、西東京市の市民は有料化への認識はもっております。戸別収集についてもカラス被害がなくなるというので戸別収集が良いと聞いています。副会長が言うように、戸建住宅が戸別収集になると横のコミュニケーションがなくなるという不安を持っている人もいます。</p>
<p>副会長</p>	<p>自宅の敷地内の玄関や裏に出すのは、主婦にとっては楽になると思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>武蔵野市に住んでいますが、その他プラスチックは無料のため、意識してきれいに洗って出しますと不燃ごみはまったく出なくなりました。2ヵ月たっても不燃ごみは有料袋に一杯にはなっていません。</p>
<p>委 員</p>	<p>有料化は袋を買うことになるが、以前、黒い袋での排出を禁止し推奨袋で出すようになった時点で、市の指定袋に移行できれば良かったと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>黒いごみ袋には歴史があり、近隣市でもダストボックスを置く話が盛り上がり、市議会でも提案が出されました。しかし、道路状況等により市ではダストボックスを置かず、袋での排出が決まりました。現在では、逆にダストボックスを設置した市では廃止ができない状態になっております。</p>
<p>委 員</p>	<p>市の財政状況を考えると労力等が1以上はあってほしくないと思います。その分を市民の努力に振り向けていただき、資源物は無料、その他は有料とする必要があると考えています。たとえば、戸建住宅についての収集区域は狭くなるが、一日で一括すべてのごみを持っていくような方法はとれないでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>すべて一括で収集してもどこかで分別しなければなりませんので、一台の車で一緒には収集できないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ふれあい収集で1週間に2～3回全品目を収集していますが、全体的となると現実的ではなく不可能と考えています。</p>
<p>委 員</p>	<p>荒川区では町会がすべてを集めて、行政が収集できるものは収集し、残りは業者が収集して町会には奨励金を出して実施しております。ただし、他市の状況を見ると品目別に収集するほうが効率的だと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>戸別収集は1件1件収集していくので、幹線道路は交通渋滞が起こり、現在は駐停車もかなり取締りが厳しくなっているので、警察との調整が必要になってくると思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>戸別収集を行った市で収集時間等のヒアリングは行いましたか。</p>

事務局	<p>当初、武蔵野市・調布市・小金井市もごみの置き場所がきちんと特定できなかったため遅くなったということです。調布市は、当初夜10時ぐらいまで収集しており、現在は4時～4時30分ぐらいで終わっているとのこと。また、小金井市は古紙の収集が遅くなったとのこと。遅くなったことの1つには、事前に市民と決めた場所以外にごみを出されたことで時間がかかり、混乱したとのこと。そのため、収集時間を早くするためにも、労力等を1.3～1.5倍にしないと難しいとも言っていました。交通渋滞等はどの市も懸念しており、幹線道路をゆっくり進むことになるので、他市は、一定の場所に一旦ごみを集め収集したり、軽トラックを用意して交通渋滞が起こらないよう対策をとっています。</p>
委員 事務局 副会長 委員	<p>交通渋滞対策等は収集業者が考えているのですか。 行政側がある程度案を出しながら行っています。 ごみを出す市民と収集側が慣れてくればスムーズにいくと思います。 商店街の飲食店等の前などに長時間ごみを置かれてしまうと困ってしまいます。</p>
委員	<p>よくテレビで飲食店の前にあるごみを見るが、あまり良いものではありません。戸別収集というと1件1件となるが、地域の事情で3件とか5件で集積所収集を行っても良いと思います。</p>
委員	<p>戸別収集は、1ヶ所に待機して大量のごみを積み込むということではなく、少しずつ車を走らせ、収集員は歩きながら収集することになります。武蔵野市は、渋滞が予想されるところは収集員が先行しながら収集しています。</p>
委員	<p>有料化・戸別収集ですが、私どものごみ置き場には、費用を出し合い次世代でも使える立派なものを作ったが、戸別収集になるとこのボックスはどうなってしまいますか。</p>
事務局	<p>他市の状況を調べましたが、戸別収集になったからすべて駄目ですということではありません。調布市は、ごみ集積所をきちんと維持管理・清掃等を行っているところは認めています。他市も路上にあるごみ集積所で、基本は路上にごみは置かないということです。皆様の敷地に置き、市民の皆様が責任をもって排出することを基本に考え進めていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>また、飲食店等の前に長時間置くのは営業等に支障をきたすことがあるので、地域によっては早く行くような、ケースバイケースを考えていかなければと考えています。</p>
会長	<p>戸別収集と有料化の心配ごとが出てきているが、資料4の基本理念・目的を十分理解し、収集については弾力性が必要であります。私たちが諮問をもらっているものは、資源化促進と費用負担の適正化で、有料化と戸別収集が一人歩きするのではなく、資源化や減量化の総合施策に有料化や戸別収集が入ってくるだけであり、例えば有料化と戸別収集の時期をずらして行うというのは市民に対して説明することです。基本理念は総合施策の中で、西東京市の現状と今後、その他プラスチックの分別収集や戸別収集を行う中で有料化の目的や効果をもう少し分かりやすくする必要があります。</p>
会長	<p>例えば、戸別収集と有料化は切り離せないことだと思いますが、資源化の促進・排出者責任・ごみ処理経費の軽減等にも関連するということを訴えていきたいと考えております。さらに基本理念を皆様にもう少し考えていただき、目的の優先順位をもう一度検討していただきたいと思っております。目的の中の最終処分場の延命化は重要であり、ごみ処理経費はごみが減れば減ります</p>

副会長	<p>が市民には伝わりにくく、手数料収入が本来の目的ではないとのことなので、それ以前に排出者責任の明確化で戸別収集につながってきますし、総ごみ量と資源化推進はもう少し前に来なければならないと思います。</p> <p>このようなことを、もう一度皆様で検討していただければと思います。</p> <p>対象範囲や手数料で他市が指定袋で行っているから西東京市も同じようにということではなく、他では認定袋のシール方式を採用しているところもあります。指定袋制もシール制も一長一短があり、さらに全国指定袋を考える会もあるので、1つにとらわれず調べていただければと思います。</p> <p>現在、粗大ごみもシール制で行っていると思いますが、今の現状ですと決まった袋を作る方向に進んでいます。東京23区推奨袋を買っておりシール制も面白いと思います。レジ袋等を買ったり貰ったりしないでマイバックを持参し、認定袋ならもらうということも大事なことであり、と思います。</p>
委 員	<p>基本理念については、型どおりの環境負荷をなくすことが現状であり、ごみは経済活動から発生するもので、抑制するためには「ごみになるものは買わない・作らない」ということを訴えていく必要があると思います。</p> <p>武蔵野市民の様子を見て、有料化と戸別収集を行って良かったと思ったことは、各自自分の家のごみの出し方を工夫し始めたことです。例えば手作りのポリバケツカバーを作るようごみに対する認識がすごく変わったことです。他市の結果を審議会の中で認識することも重要ですので、審議会でも先進市を見ることが必要だと思えます。</p>
会 長	<p>今の意見は、資料3の8の有料化の実施前・後のごみ量の推移を数値だけで見るとは、意識の変化といったことをのせることにより説得力があり、環境意識・排出者意識としての目的に位置づけてもよいと思います。</p>
委 員	<p>月500円の負担だと1年間で6千円、10年間で6万円になり、実際お金を支払うようになると減量にもつながり、ルールを守るようになると思えます。</p> <p>細かく分別してごみに出す場合はレジ袋が多いように見受けられます。指定袋への移行はスムーズにできると思いますが、レジ袋等にシールを貼る方法は、収集作業の中での確認は難しいと思います。他市も同様に審議会を立ち上げ指定袋制にしていると思います。</p>
会 長	<p>実際にシール方式で行っている市もありますが、課題として収集作業が困難ということがあります。そのため、認定袋制にしてシールを貼る位置を決めております。認定袋は、販売店と協定を結び認定袋としております。指定袋は、入札業者1社だけに任せてしまうようなこともあり、このシール制のメリットがあるという意見もあります。</p>
委 員	<p>シール方式は、収集する側は確認が困難でシールを貼って無くても収集することとなり、最終的にシールを貼らなくても持っていくという認識になってしまいます。</p>
委 員	<p>ごみ袋はほとんど皆さん買ってあり、都の指定袋か市の指定袋を買うかなので、抵抗はそんなにないと思います。</p>
委 員	<p>その他プラスチックを有料収集にすべきかどうか書いていますが、無料にすれば資源物として努力して排出するが、有料にすると市民は何を努力したらいいのかということになってしまいます。ごみと資源物は分けていただき、ごみを減らすために無料の部分を作っていただきたいと思えます。</p> <p>また、資源物は流通するので無料が良いと思えます。</p>
事務局	<p>その他プラスチックを有料・無料については審議していただきますが、不燃ごみの中のその他プラスチックの容量での割合は約8割ぐらいになりま</p>

	<p>す。その他プラスチックを除くと不燃ごみの収集は2週間に1回で対応できると思います。小金井市では不燃ごみを3種類（不燃・プラスチック・金属類）に分けて収集しています。これも1つの方法であり、さらに小金井市は、その他プラスチックについては有料で収集しています。現状はプラスチックが圧倒的に多いため、各市ともプラスチックをこのままにして良いのかという議論がされているところです。</p>
副会長	<p>資源化すれば無料ということで、プラスチックが増えても良いということではなく、物を買う時点で考えるようにしなければならないと思います。</p>
会長	<p>基本理念・目的等についてご意見がありましたら事務局に連絡していきたいと考えております。対象範囲・排出方法・収集方法・手数料等については「いずれかで決定」とあるのでご意見等をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>例えば、資源ごみの古紙類は、可燃ごみで集めている雑紙が大量に排出され、ごみ集積所で邪魔になったり収集時にかさばるなどの問題が出ています。東村山市の場合は、ごみ置き場が30～50世帯の利用のため大量に古紙が出されるため、戸別収集かステーション方式が決めかねているようです。古紙はステーション回収を残し、市の財政状況も考え、戸別収集の業者増車分の委託料等を考えるとステーション収集を残した方が良いと思います。ただし、武蔵野市はすべて戸別収集を行っております。</p>
委員	<p>資源ごみとは具体的に何をさしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>ここで資源ごみをさしているのは、その他プラスチックです。</p>
委員	<p>びん・缶・ペットボトル・古紙類は別になります。</p>
副会長	<p>このところは、可燃ごみ・不燃ごみ・その他プラスチックと解釈してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>雑紙がかさばるといのはどういうことでしょうか。</p>
事務局	<p>武蔵野市では、雑紙をレジ袋に入れて出しても良いということにしてしまったため、袋にいっぱいにならずに出してしまうので、かさばるばかりで重さが出ない状況になっております。</p>
会長	<p>対象範囲にその他プラスチックを入れたのは、武蔵野市と調布市では分別が不徹底になり、無料のその他プラスチックの中にいろいろなものを入れられてしまったとのこと。また、不燃ごみの大半を占めるその他プラスチックも資源物ですが、その資源化等にも多くの経費がかかるため、基本理念では無料だが経費その他を考えながら決めていく必要があります。</p>
副会長	<p>西東京市民の資質が問われることにもなります。</p>
事務局	<p>びんのふた等は、現状どおり不燃ごみの中に入れて固形燃料化を続けるのですか。</p>
会長	<p>びんのふた等は、現状どおり固形燃料化を続けます。</p>
副会長	<p>その他プラスチックの有料化を了承するには、西東京市としてどの程度のものまでその他プラスチックに入れるのか検討していただき、そして有料・無料を検討していく必要があります。</p>
事務局	<p>出前講座でもその他プラスチックの話が出るとはと思いますが、反応は同でしょうか。</p>
副会長	<p>プラスチックは具体的に品物を見ても多種多様なものがあり、我々自身でも迷うことがあるので、できるだけ目を見ていただくことが必要だと考えています。</p>
副会長	<p>日野市のカレンダーは今も発行していますか。</p>

事務局	今も発行しています。日野市は最終処分場の課徴金等の問題で有料化を早い時期に行ったと思います。
会長	小金井市・調布市・武蔵野市・日野市の広報関係の資料を集めていただければと思います。その他、資料4の収集方法・手数料・減免対象・周知方法等でご質問がありますか。
委員	有料のごみは戸別収集、無料のごみはごみステーション方式となるとごみステーションが残るので、すべて戸別収集にした方が良いと思います。
事務局	確かにその方法も考えられますが、市の財政的負担は大きいものになってしまいます。
委員	有料化による手数料収入について何か考えていることはありますか。
会長	それは、この審議会で考えていかなければならないことであり、今は一般会計に入ってしまうが、この審議会で使い道等を検討していく必要があります。
事務局	小金井市は、基金制度等を導入しているので、現在、当市でも調べています。
会長	この基金制度を最初に導入したのは福岡市なので聞いてみるのも良いと思います。
事務局	武蔵野市は、一般財源ではなくごみ処理施設等の特定財源として聞いています。
副会長	一般財源に入れ、何に使用されるのか不明よりは、ごみ処理等に使用する特定財源に入れた方が市民にも説得できると思います。
委員	戸別収集にした場合は、収集車の機能等を変更するのでしょうか。
事務局	車を基本的に変更はしませんが、道路の狭い所等では軽トラック等で収集する必要が出てきます。
委員	車の収集速度が遅くなると電気自動車等の導入は考えていますか。
事務局	電気自動車は費用的に高いですが、住宅街等では静かで良いと思います。このことについては、今後の検討課題とさせていただきます。
会長	資料4についての意見は、次回開催までに事務局にお寄せいただければと思います。事務局側は、いつまでにご意見をいただければ次回開催までに間に合うでしょうか。
事務局	ご意見等があれば、7月15日までにお願いします。なお、手紙だけではなくメールやファックスでも結構です。 次回は、7月27日（木）午後2時から会議を行います。 なお、8月以降の日程は決まっていますが、議会日程等もあるので、原則として月の最後の木曜日とし、詳細は会長等と調整しながら決めていきたいと思っています。